

汚染水等構内溜まり水の状況（2017.4.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
1-1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs134: <1.0E1 Cs137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs134: 1.1E1 Cs137: 4.0E1 全β: 4.1E1 H3: 1.1E2 (2015.11.2)
1-2	2号機R/B	2号機R/B	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	[上屋] Cs134: 200~340 Cs137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr90: 10~20 H3: ND(<100) (2015.1.16)
2	5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5,6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約10,000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
3	5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5,6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5000 (2015.4.16時点)	Cs134: 26 Cs137: 65 Co60: 13 (2014.2.6)
4	吸着塔一時保管施設(HIC)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	・吸着塔一時保管施設(第二施設、第三施設)	0 (ボックスカルバート内の水は拭き取り実施済み)	【No.172(AJ5)蓋外周部(他調査中)】 Cs134: 1.9E+3 Cs137: 6.8E+3 全β: 3.0E+6 (2015.4.2)
5	No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	・No.1ろ過水タンク (RO濃縮塩水/溶接タンク)	屋外(35m盤)	約1(一部1cm残水あり)	【No.1ろ過水タンク】 Cs-134: 2.3E+03 Cs-137: 4.3E+03 全β: 6.6E+07 (2013.11.19)
6	4000tノッチタンク (角型タンク)	・4000tノッチタンク	35m盤タンクエリア	約900 (2015.6.30時点)	【3000tノッチタンク】 水抜き済 【1000tノッチタンク】 Cs134: 1.7E1 Cs137: 6.1E1 全β: 9.6E4 (2015.6.3)
7	濃縮水タンク (蒸発濃縮装置濃廃水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク (スラリー/濃縮水)	35m盤タンクエリア (Cエリア)	約85 (2015.6.9時点)	【蒸発濃縮装置濃廃水】 Cs134: 1.7E4 Cs137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)
8	淡水貯留タンク (G1エリア地下タンク)	・淡水貯留タンク (横置きタンク)	35m盤タンクエリア	約6000 (2015.4.16時点)	【淡水化装置出口水】 H3: 8.7E5 全β: 1.5E4 (2012.9.18)

汚染水等構内溜まり水の状況（2017.4.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット ・5号機逆洗弁ピット ・6号機逆洗弁ピット	5, 6号機スクリーン近傍	(5号機吐出弁ピット) 約550 (6号機吐出弁ピット) 約850	【5号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 1.3 Cs137 : 4.8 【6号機吐出弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 1.1 Cs137 : 5.6 【5号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 5.1 Cs137 : 2.4E+1 【6号逆洗弁ピット】 (2015.10) Cs134 : 4.3 Cs137 : 1.7E+1
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B ・2号機T/B	10m盤に存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs134:250~740 Cs137:980~2700 全β:1400~6900 (2014.11.26) 【2号機T/B上屋】 Cs134:120~3000 Cs137:420~10,000 全β:500~29,000 (2014.12.1)
11	1号CSTタンク (溶接タンク)	・1号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約740 (2016.10.26)	Cs134:2.9E+4 Cs137:1.9E+5 全β:2.2E+5 (2016.11.7)
12	2号CSTタンク (溶接タンク)	・2号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2260 (2015.6.17現在)	Cs134:1.7E+4 Cs137:5.7E+4 全β:4.2E+6 (2015.3.23)
13	3号CSTタンク (溶接タンク)	・3号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2120 (2015.6.17現在)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 (2017.2.8) (2017.3.8) H3:4.6E+5 6.9E+5 Sr90: ND ND 【CST貯留水】 (2015.7.16) Cs134:2.1E+3 Cs137:8.0E+3
14	4号CSTタンク (溶接タンク)	4号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約2000	【プラント復水】
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	35m盤タンクエリア	一※ (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.1E6 1.1E6 (2017.2.24) (2017.3.24) (参考:漏えい検知孔水) 全β:1.4E5 1.4E5 (2017.3.22) (2017.4.19) H3:3.1E2 ND (2017.3.1) (2017.4.5)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	35m盤タンクエリア	約300 (2017.3.29)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:1.7E6 2.1E6 (2017.2.24) (2017.3.24) (参考:漏えい検知孔水) 全β:1.1E5 2.7E4 (2017.3.22) (2017.4.19) H3:3.3E3 1.3E3 (2017.3.1) (2017.4.5)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	35m盤タンクエリア	約150 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β:3.7E6 3.6E6 (2017.2.24) (2017.3.24) (参考:漏えい検知孔水) 全β:4.4E4 4.1E4 (2017.2.23) (2017.4.20) H3:3.9E2 5.7E2 (2017.3.2) (2017.4.6)

※:水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2017.4.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	35m盤タンクエリア	—※ (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 3.9E4 (2016.9.6)
19	地下貯水槽	地下貯水槽No. 5	35m盤タンクエリア	— 二 (撤去作業中) —※ (2016.4.21)	【使用実績なし(水張試験のみ)】 — 全β: 2.7E1 (2016.9.6)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	35m盤タンクエリア	約120 (2016.4.21)	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.1E7 (2016.9.6) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: ND 2.8E1 (2017.1.26) (2017.4.20) H3: ND (2017.1.5)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	35m盤タンクエリア	約90 (2016.4.21)	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.0E2 (2016.9.6)
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約2~1200 (2016.10~2017.1) 約1~1200 (2015.10~2016.1)	Cs134: ND~4.0E2 1.4E1~2.1E2 Cs137: 2.6E1~1.7E3 8.1E1~1.3E3 全β: 4.9E1~2.8E3 1.0E0~1.6E3 H3: ND~6.5E2 ND~5.7E2 (2015.10~2016.1) (2016.10~2017.1)
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2015.11)	Cs134: 5.8E2 1.2E1 Cs137: 2.4E3 8.1E1 全β: 2.2E3 8.3E1 H3: ND (2015.11) ND (2016.10)
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約3000	Cs134: 6.0E0 4.4E0 Cs137: 3.6E1 3.8E1 全β: 4.0E1 3.2E1 (2017.2.22) (2017.3.27)
24-2	2号機海水配管トレンチ	・2号機海水配管トレンチ	2号機タービン建屋海側	0 (2015.6.30時点)	—
25-1	3号機海水配管トレンチ	・3号機海水配管トレンチ	3号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.7.30時点) (注)立坑D上部を除く	— 【立坑D】 Cs134: 5.6E5 Cs137: 1.9E6 全β: 4.2E6 H3: 1.5E5 (2015.2.27)
25-2	4号機海水配管トレンチ	・4号機海水配管トレンチ	4号機タービン建屋海側	0 ^(注) (2015.12) (注)建屋接続部及び建屋接続部近傍の開口部を除く	—
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約790 (2016.10) 約690 (2015.11)	Cs134: 2.3E2 1.4E2 Cs137: 9.7E2 8.4E2 全β: 1.3E3 1.1E3 H3: ND (2015.11) ND (2016.10)
27	廃棄物処理建屋間連絡ダクト	・廃棄物処理建屋間連絡ダクト	プロセス主建屋北側	約6 (2016.10) 約1 (2016.9)	Cs134: 1.0E3 2.1E3 Cs137: 5.9E3 1.2E4 全β: 6.9E3 1.5E4 (2016.9) (2016.10)
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防炎用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1-4号機周辺	約7~820 (2015.10~2016.1)	Cs134: ND~2.2E2 Cs137: ND~9.2E2 全β: 5.1E1~1.4E3 H3: ND~3.1E2 (2015.10~2016.1)

※: 水位計の計測限界水深未満(残水あり)

汚染水等構内溜まり水の状況（2017.4.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
29	1～4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1～4号機周辺 「未復旧」	約20m ³	No.16 Cs134:3.0E5 Cs137:2.2E6 全β:2.4E6 H-3:2.1E4 (2017.2.23)
30	その他1～4号機サブドレン(ディー プウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機～4号機サブドレン	1～4号機周辺 「未復旧」	約15/ピット	No.47,48 Cs134:ND～3.9E1 Cs137:4.8E1～9.6E1 全β:7.9E1～2.8E2 H-3:ND (2014.11.10)
31-1	1～4号機逆洗弁ピット	・1号機逆洗弁ピット ・2号機逆洗弁ピット ・3号機逆洗弁ピット ・4号機逆洗弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	(1号機逆洗弁ピット) 約300 (2016.7.11) (2号機逆洗弁ピット) 約900 (2016.7.11) (3号機逆洗弁ピット) 約700 (2016.7.11) (4号機逆洗弁ピット) 約1300 (2016.7.11)	(1号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:4.4E3 Cs137:2.5E4 全β:2.9E4 H3:2.6E2 (2号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:1.4E2 Cs137:8.0E2 全β:9.3E2 H3:ND (3号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.4E3 Cs137:1.2E4 全β:1.5E4 H3:5.3E2 (4号機逆洗弁ピット)(2016.5.18) Cs134:2.3E2 Cs137:1.2E3 全β:1.3E3 H3:ND
31-2	1-4号機吐出弁ピット	・1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット ・4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出 弁ピット	1～4号タービン建屋海 側	【1号機吐出弁ピット】 0 (2015.11) 【4号機吐出弁ピット】 0 (2015.10)	【1号機吐出弁ピット】 — 【4号機吐出弁ピット】 —
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1～4号タービン建屋海 側	約3800	【放水路上流側立坑】 (2017.3.24) (2017.4.21) Cs134:6.6E2 2.2E2 Cs137:4.3E3 1.3E3 全β:5.7E3 1.6E3 H3:5.6E2 1.5E2
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2-4号機タービン建屋 海側	約3000	【放水路上流側立坑】 (2017.3.24) (2017.4.21) Cs134:1.5E2 4.3E2 Cs137:9.9E2 2.9E3 全β:2.5E3 3.7E3 H3:2.1E2 1.6E2
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3-4号機タービン建屋 海側	約600	Cs134:2.6E2 Cs137:1.1E3 全β:1.7E3 H3:9.0E2 (2015.6.10)
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4500	Cs134:7.2 Cs137:23 I-131:<4.3 Co-60:<4.2 全γ放射能:3.1E+1 (2014.5.23)
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1000	Cs134:ND Cs137:ND Co60:1.922E+01 (2015.6.4)
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(10m盤)	約1250	Cs134:ND Cs137:ND Co60:5.254E+02 (2015.6.16)
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5号機スチームドレン配管トレン チ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5～6号機周辺	約1～1900 (2015.10～2016.1)	Cs134:ND～2.2E2 Cs137:ND～9.9E2 (2015.10～2016.1)

汚染水等構内溜まり水の状況（2017.4.26時点）

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]
39	5, 6号機サブドレン	・5,6号機サブドレンピット	5～6号機周辺 ※「復旧対象」	約15/ピット	Cs134: ND～0.34 Cs137: ND～0.95 全β: ND～2.6 H-3: ND～25 (採水期間: 2014.8～2014.11)
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ピット	Cs134: 1.0E+1 Cs137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)
41	SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1～4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2800 (2015.3.25時点)	Cs134: 8.0E+4 Cs137: 1.6E+5 Co60: 6.5E+2 (2013.8.27)
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等各建屋周辺	約15/ピット	Cs134: ND～53 Cs137: ND～130 全β: ND～240 H-3: 14～210 (採水期間: 2013.12.12～2013.12.19)
43	メガフロート	・メガフロート	港湾内	約9000 (2017.3)	No.5VOID Cs134: ND Cs137: 2.7 Sr90: ND H3: ND (2017.2.16)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(10M盤)	約850	Cs134: 2.1 Cs137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5～6号機	約6000 (2015.6時点)	【5号機】 Cs134(ND)、Cs137(2)、H3(132)、全β(ND) (2015.6.17) 【6号機】 Cs134(5.2)、Cs137(17)、H3(531)、全β(138) (2015.6.18)
46	排気筒ドレンサンプルピット	・1/2号排気筒ドレンサンプルピット ・3/4号排気筒ドレンサンプルピット ・5/6号排気筒ドレンサンプルピット ・集中RW排気筒ドレンサンプルピット	1～4号機周辺 5/6号機周辺	1/2号サンプルピット 約0.3※ 3/4号サンプルピット 約2 5/6号サンプルピット 約5 集中Rwサンプルピット 約20 ※適宜溜まり水の移送を実施	【1/2号サンプルピット】 (2016.11.28) (2017.3.14) 全β: 2.6E7 2.6E7 Cs134: 3.2E6 2.3E6 Cs137: 2.2E7 1.7E7 【3/4号サンプルピット】 (2016.3.17) 全β: 1.3E3 Cs134: 2.4E2 Cs137: 1.1E3 【5/6号サンプルピット】 (2015.9.16) 全β: 7.6E1 Cs134: 1.2E1 Cs137: 4.7E1 【集中Rwサンプルピット】 (2015.12.17) 全β: 7.6E2 Cs134: 1.5E2 Cs137: 6.6E2